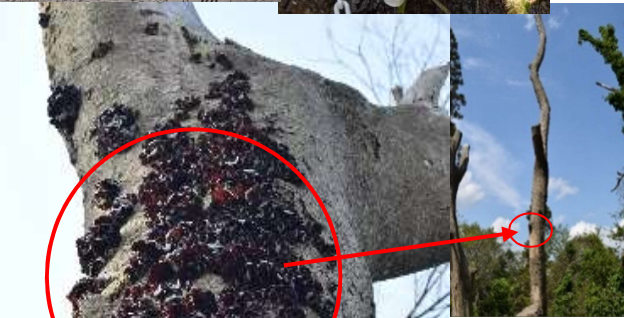


粘菌の会 会報 AIIC

第13号 令和2年
2020年5月1日発行

博物館の
ナニワバラ

コロナウイルスが世界中に拡大しています。私たちの暮らしも感染の恐怖に脅え、過去に無い社会生活や日常となっています。粘菌が人類の危機を救えるヒントを無言で語っているかもしれませんね……。新緑の樹々、これから動き出す粘菌、生物達との出会いに、それを感じこんな時こそ、森や林、公園などの自然に出かけて対話してみてもいいのではないでしょうか。



前年10/26
マメホコリ



4/29 今年の粘菌1号となるかな？
いよいよ出番の頃と。能満地区



木耳(きくらげ)菌類 きのこ 3/13 4/29 山木地区

3月から今も発生中、雨の翌日は水分を含み生き生き。頭上高く、例年この朽ち木(けやき)に発生。きのこの類の中でも季節を先がけ、いち早く発生しているようです。

中華料理の食材として、また骨にも大切な**ビタミンD**がトップクラスに含まれています。とても多い。 山木地区



もどき? 不明 保存林

新会員募集!!

令和2年度もスタートしました。
自然との出会いを大切にしたい
会員さん、大歓迎です。

お寄せください!
粘菌情報、写真…
会報に紹介します。

行事予定

5月9日(土)に例会が予定されていましたが
感染の危険が叫ばれています。行事の
観察会と共にこれからの状況をみて検討をします。
現在は未定です。 会員の皆様には、
今後お知らせをいたします。



東国吉交差点の横、会員のSさん達がお花畑の手入れをしてくれています。一矢車草 4/22

文責 中村(良)